

令和3年2月12日

まちづくり委員会資料

王禅寺四ツ田緑地における利活用と保全の
好循環の創出に向けた取組について

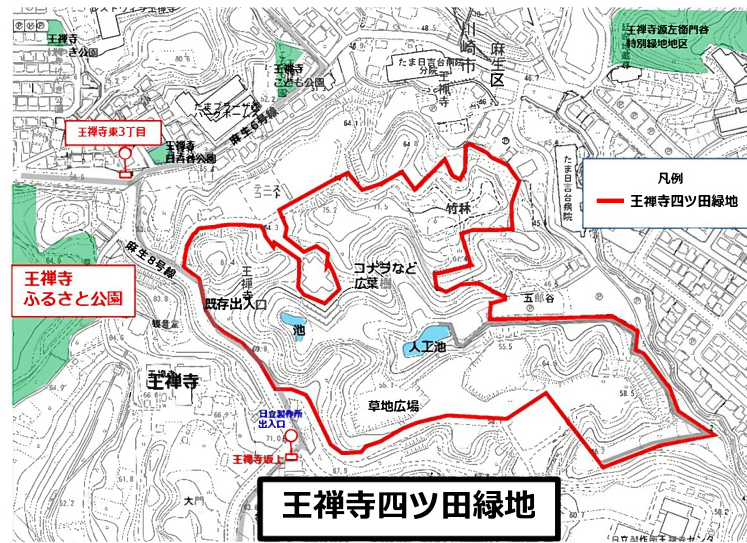
建設緑政局

王禅寺四ツ田緑地における利活用と保全の好循環の創出に向けた取組について

1 王禅寺四ツ田緑地における取組について

本市では、緑の基本計画を踏まえ、保全緑地の利活用と健全な樹林地環境の保全の好循環の創出に向け、**王禅寺四ツ田緑地をモデル地区**として取組を進めている。

王禅寺四ツ田緑地は、まとまった良好な樹林地とともに、一定規模の平坦地を有し、子どもを含め多くの人々が活動しやすい緑地であることから、豊かな自然環境のポテンシャルを活かし、**子ども達がのびのびと自然にふれあい、成長できる空間とし、野外活動体験を通して、次世代を担う子ども達の、緑への愛着や環境保全意識の醸成につなげる場として取組を進める。**



2 利活用イベントの実施について

(1) イベント実施目的

取組を推進するにあたり、**子ども達の関心の把握や、王禅寺四ツ田緑地のポテンシャルを活かした利活用の方向性の検討**を目的として、日常的に**野外活動を行っている地域の団体等との連携**により、通常の公園は体験できない、自然の中だからこそ体験できる、自然を活用した冒険心をかきたてる**野外活動イベント**を開催した。

(2) イベント概要

イベント名：四ツ田の森でわんぱくしよ！

開催日時：令和2年11月28日(土)

①午前9時30分～正午

②午後1時30分～午後4時

対象者：小学生以上（小学1～3年生は保護者同伴）

参加者：201名（うち子ども111名）

体験内容：10団体による野外活動体験

（木や竹を使った工作、自然探索など）



SDGs バッチ作り



木の枝パチンコ



竹工作

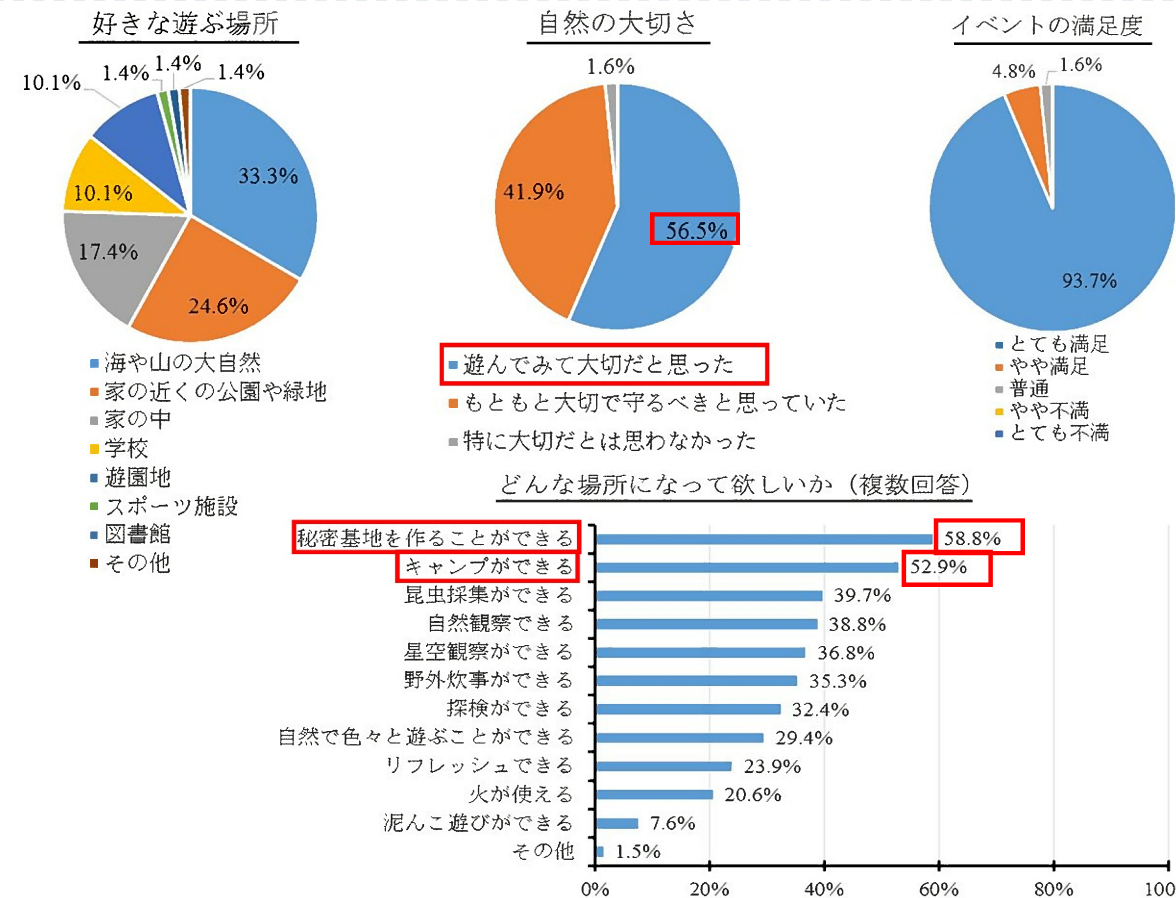


自然探索

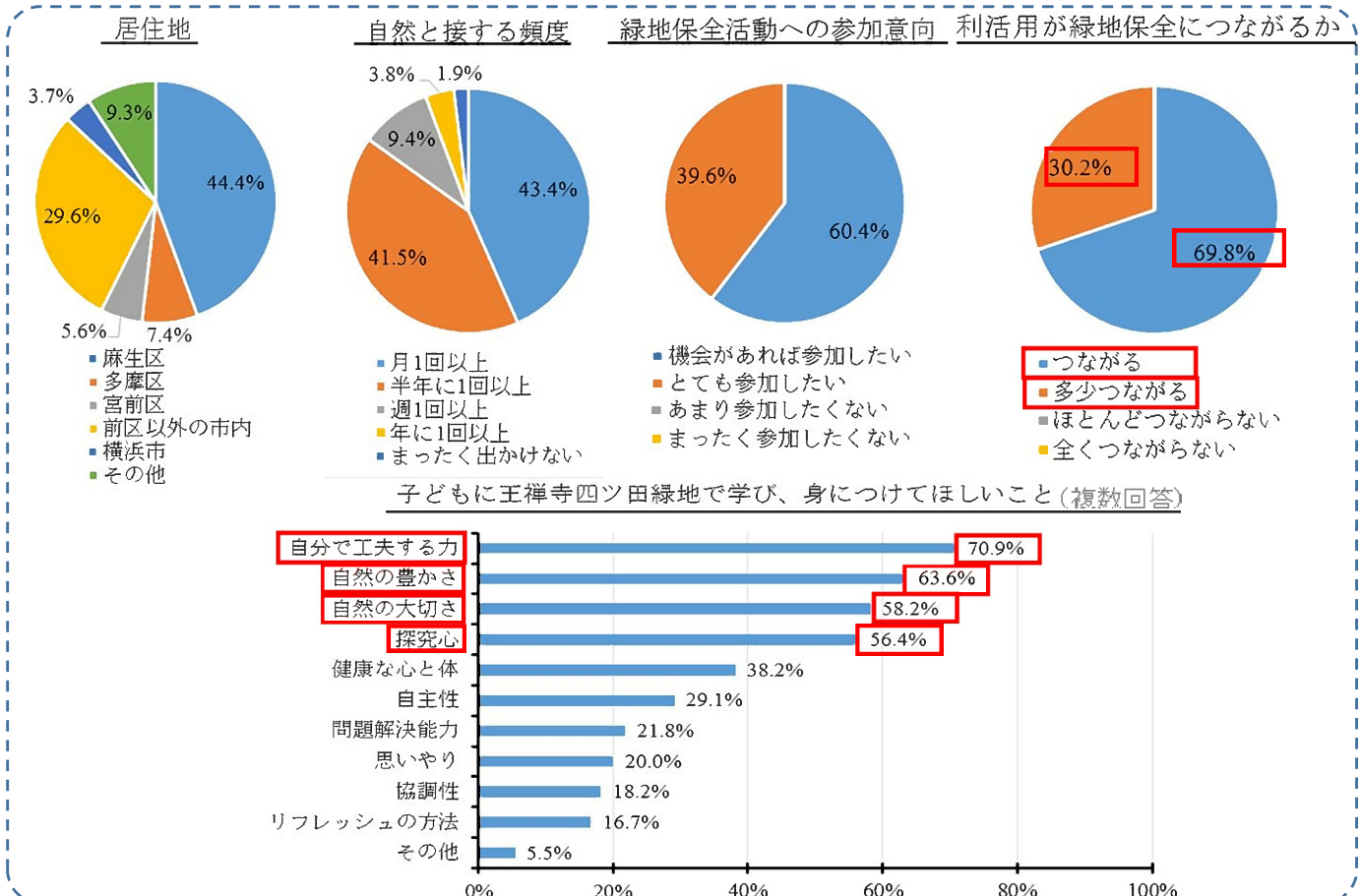
(3) アンケート

王禅寺四ツ田緑地の**取組に対する参加者のニーズ把握や課題整理**をするため、イベント参加者やイベント連携団体等に**アンケートを実施**した。

ア 子どもへのアンケート結果（71名）



イ 保護者へのアンケート結果（55名）



王禅寺四ツ田緑地における利活用と保全の好循環の創出に向けた取組について

ウ イベント連携団体等へのアンケート結果（17団体（※現地見学会に参加した団体含む））

（ア）利活用ニーズ

- ・自然体験学習や環境学習、ボランティア育成の場
- ・誰もが利用できる場
- ・定期的なイベント開催

（イ）利活用する上で決めておきたいこと

- ・**緑地利活用のルール**（利用時間・禁止事項・火気の使用・団体利用の調整など）
- ・保全を理解した活動の考え方（植生調査を踏まえた活動エリアのゾーニングなど）

（ウ）どのような空間になって欲しいか

- ・**管理者の配置による、火気の使用**など、現状の自然が保全される状態を維持しながら様々な団体が共存して利用できる場
- ・子ども達が自然とふれあい、**非日常的な体験**ができる場

（エ）利活用が保全の好循環につながる取組の進め方

- ・里山は人が手を入れて生態系が保たれていたフィールドであり、**子どもが活用する視点を持って、緑地の管理をイベント化**して市民参加で管理を行うとともに、管理で発生した材を遊びにつなげ、**緑地に愛着を持ってくれる仲間を増やしていく**。

Ex)草刈・剪定作業時の剪定枝や草を使った野外体験（たき火・野外調理・工作体験）

【利活用に必要な施設整備】

トイレ・水道・草地広場までの園路整備(人・管理用車両)

エ アンケート結果の考察

子ども達は、イベントで実施したような**通常の公園では体験できない野外での活動体験**に対し高い関心を示しており、**保護者も、自然の中での経験を通して自分で工夫していく力などを身につけて欲しい**と考えている。併せて、利活用の推進が保全意識の醸成につながることも確認ができた。

また、本格的に利活用を推進する上では、**園路等の整備**が必要であり、緑地の保全に配慮しながら、火気の使用などの野外活動を行うための、**緑地の利活用のルールづくり**や**現地の管理者の配置**が求められている。

3 取組の方向性について

王禅寺四ツ田緑地においては、他の保全緑地とは異なり、平地があり、かつ住宅からも離れ、安全管理もしやすい立地特性を活かし、**子ども達が、通常の公園では体験できないような、様々な野外での活動を通して、貴重な自然環境の中で、創意工夫をしながら自らの手で遊びを創造していける、冒険心をかきたてる『（仮称）四ツ田わんぱくの森』**として、利活用を推進し、子ども達の健全な心身の育成を図るとともに、**子ども達に自然の大切さや豊かさを感じてもらい、環境保全意識の醸成につなげていく。**

4 今後の取組について

令和3年度は、王禅寺四ツ田緑地において、**園路等の整備**を行い、**試験的な管理運営**の実施により、**利活用と保全の好循環の創出**に向けて、**地域の方々等との意見交換**を行い、**利活用のルールや事業手法を取りまとめる。**

【試験的な管理運営の内容】

- ・土日及び祝祭日を基本に、一般来園者及び希望団体による緑地の利活用の推進
- ・一般の来園者に様々な野外活動体験や自然体験の提供
- ・野外活動団体等と連携したイベントの開催
- ・緑地の利活用と合わせた樹林地管理の推進
- ・植生調査を踏まえた利活用区域の検討

【緑地利活用イメージ】



冒険遊び



手作りブランコ



たき火体験

5 取組スケジュール

	R2年度		R3年度											R4年度以降		
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
取組スケジュール			意見交換会		園路整備 (人・管理用車両)		緑地の試験的な管理運営						利活用のルール・事業手法の取りまとめ			取組推進・拡大
			現地調査(植生調査) 地域・団体との意見交換													

※令和2年11月のイベントに関わった方や地域の方々との意見交換会は令和3年1月に予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い開催を延期。